

元気なまち藤枝

平成22年度
当初予算・組織定数改正(案)の概要



平成22年2月15日

基本理念

「元気なまち藤枝」づくり

「元気なまち藤枝」づくり

基本方針

- 子どもたちが輝くまち
- 誰もが安心して暮らせるまち
- 皆で協力し合うまち
- 誇りと元気のあるまち

平成22年度重点施策

市民が「やさしさ」、「明るさ」を実感できる施策の実施

- (1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の施策を重点的に実施
- (2) 「活力と独自性のある地域づくり」による、藤枝ならではの発展の実現
- (3) 「地域医療の確保」を目指し、病院経営の健全化を図る
- (4) 「大交流時代にふさわしい藤枝づくり」による、交流人口の拡大

「元気なまち藤枝」づくり

1. 当初予算案の概要



「元気なまち藤枝」づくり

(1) 予算の規模

良い予算 八方 ○

4183

800

一般会計 418億3,800万円

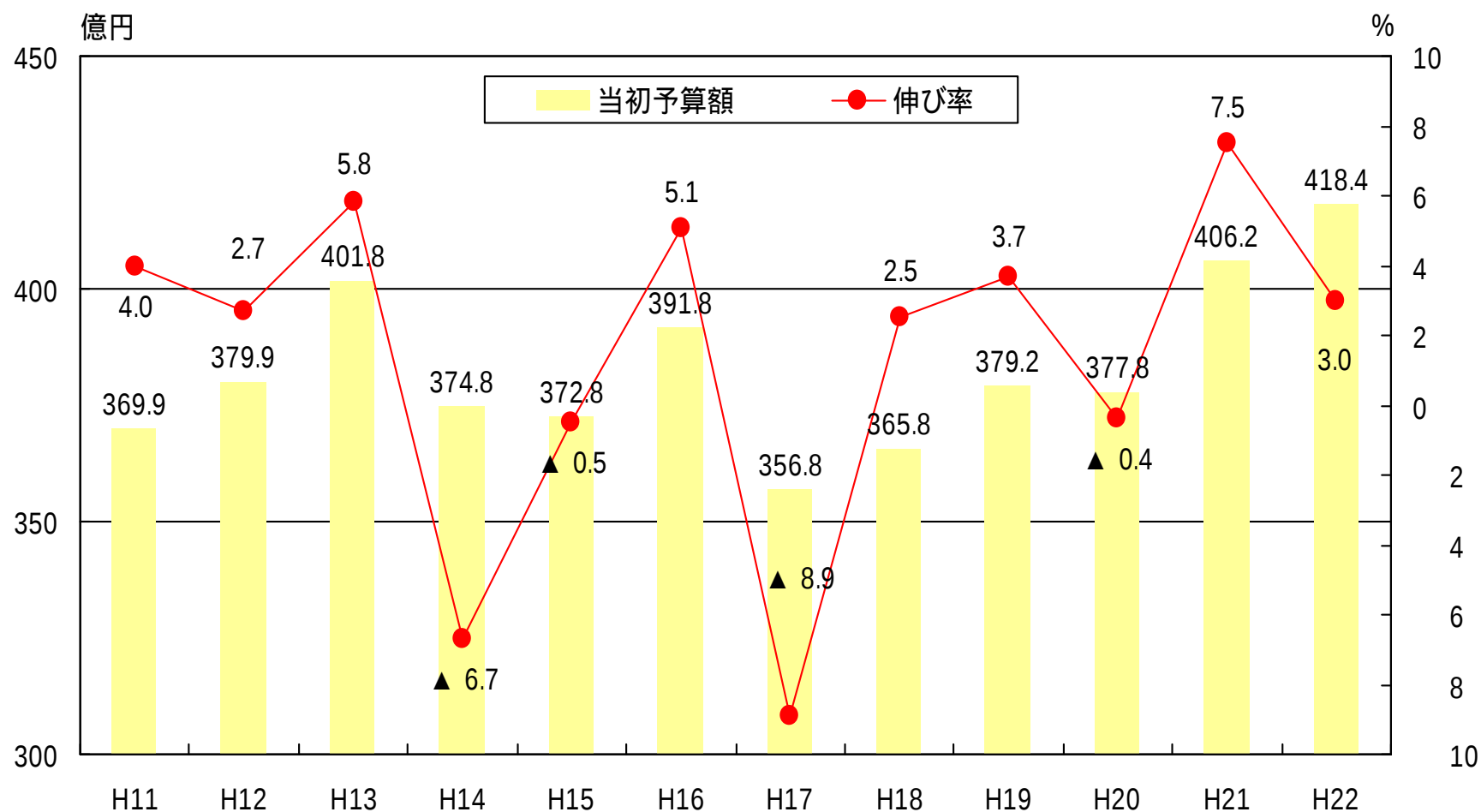
全会計

(単位:千円・%)

区 分	H22当初	H21当初	増 減	伸 率
一般会計	41,838,000	40,618,000	+ 1,220,000	+ 3.0
特別会計	25,497,300	26,430,800	▲ 933,500	▲ 3.5
企業会計	18,633,000	18,306,000	+ 327,000	+ 1.8
合 計	85,968,300	85,354,800	+ 613,500	+ 0.7

(2) 一般会計予算額の推移

予算規模は過去最大 伸び率 + 3.0%



(3) 歳入の状況

増減は対前年度当初予算比較

市 税	191億1,400万円	▲ 9億6,100万円	▲ 4.8%
	景気の影響による個人市民税の減		
地方交付税	30億円	+ 5億円	+ 20.0%
	個人市民税等の減収に伴う増、地域活性化・雇用等臨時特例費の新設等		
臨時財政対策債 (実質的な地方交付税)	25億1,100万円	+ 8億3,400万円	+ 49.7%
	国税 5 税の収入減に伴う臨時財政対策債振り替え分の増		
利子割交付金等 各種交付金	17億 250万円	▲ 1億1,700万円	▲ 6.4%
	自動車取得税交付金等の減		
国庫支出金	40億2,401万円	+ 11億4,416万円	+ 39.7%
	子ども手当負担金の皆増		
県支出金	22億2,167万円	+ 2億2,765万円	+ 11.4%
	子ども手当負担金の皆増		
市 債 (臨時財政対策債除く)	17億1,260万円	▲ 7億3,100万円	▲ 29.9%
	小中学校耐震補強工事分の減		
その他	75億5,222万円	+ 3億2,319万円	+ 4.5%
	基金繰入金の増		

(4) 市税の推移

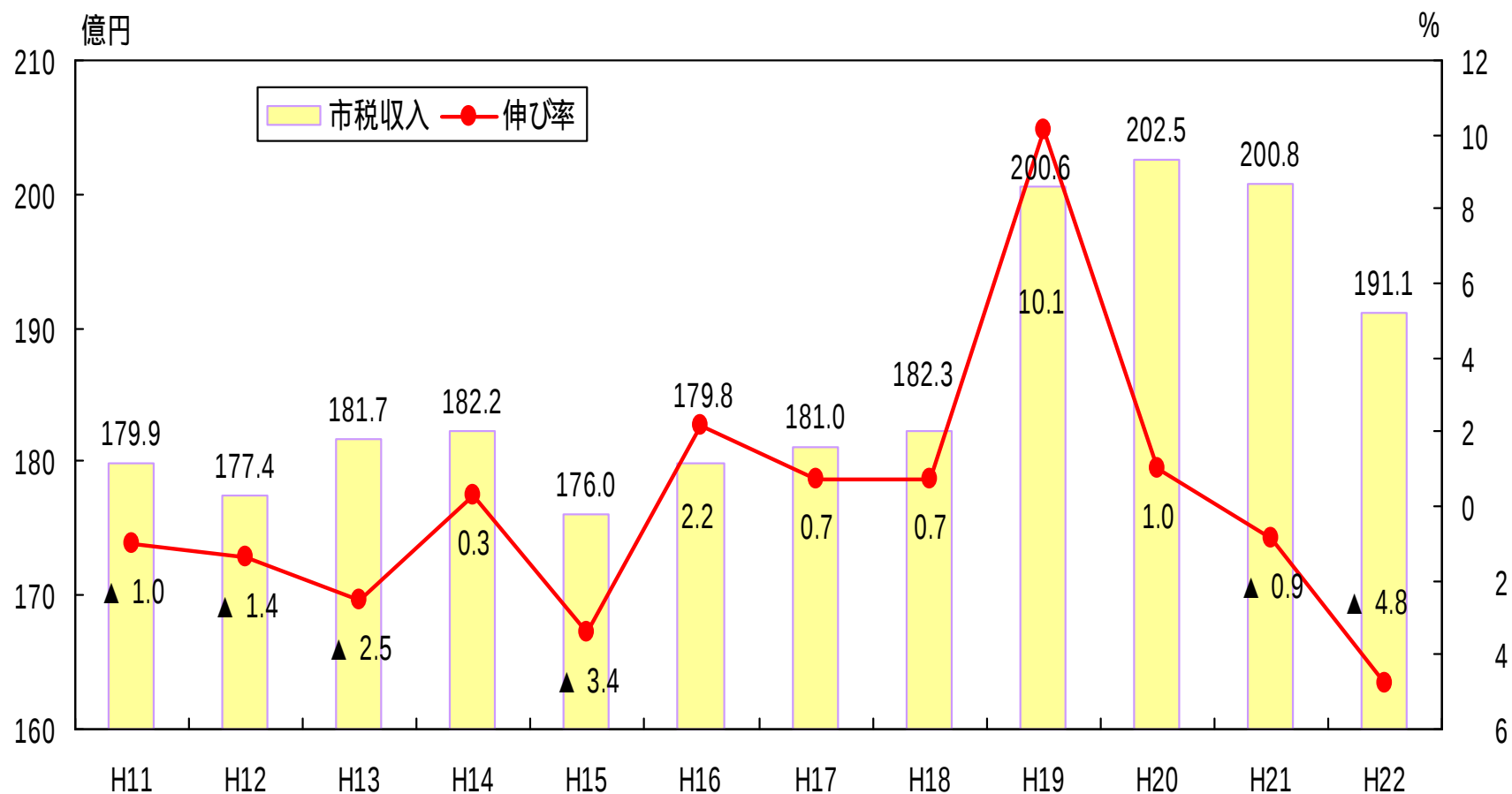
増減は対前年度当初予算比較

市税合計

191億1,400万円

▲ 9億6,100万円

▲ 4.8%



H20以前は岡部町との合算

(4) 市税の推移

増減は対前年度当初予算比較

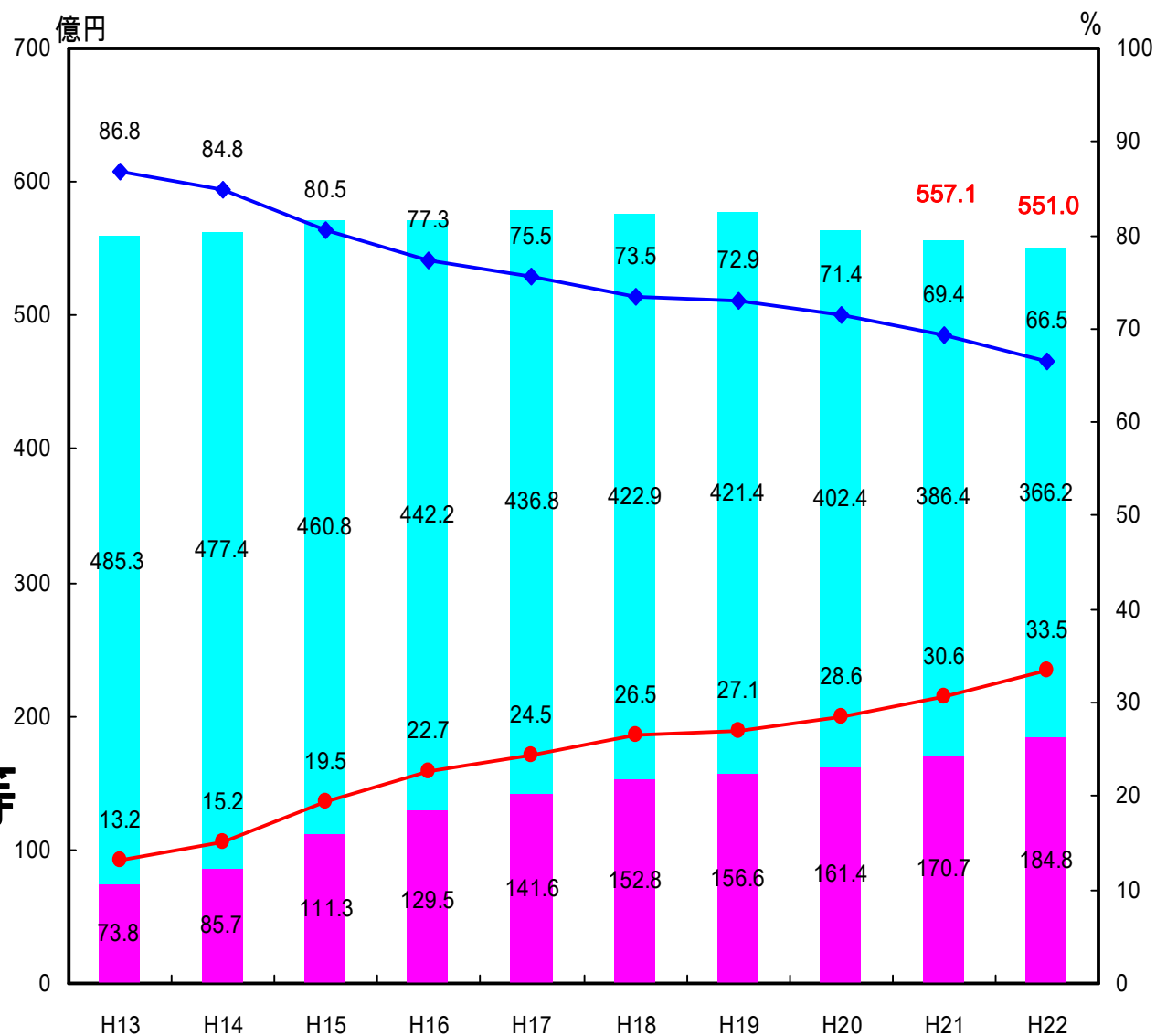
市税合計	191億1,400万円	▲ 9億6,100万円	▲ 4.8%
個人市民税	69億5,700万円	▲ 10億4,830万円	▲ 13.1%
	景気の影響による個人所得の減		
法人市民税	11億7,150万円	▲ 3,550万円	▲ 2.9%
	景気の影響による減		
固定資産税	88億 190万円	+ 1億 390万円	+ 1.2%
	家屋の新增築に伴う増等		

(5) 市債残高

**建設市債の
残高は
確実に減少！**

- 建設市債
- 臨時財政対策債等
- 臨時財政対策債等（構成比）
- ◆ 建設市債（構成比）

**臨時財政対策債等
（実質的な地方交付税）
は増加！**



(6) 歳出の状況

増減は対前年度当初予算比較

人件費	72億 193万円	+ 1億3,360万円	+ 1.9%
	共済費及び退職手当（退職者 + 2人）の増		
物件費	50億4,879万円	+ 1億1,746万円	+ 2.4%
	自主運行バス、中心市街地活性化事業等の増		
扶助費	68億 3万円	+ 18億6,325万円	+ 37.7%
	子ども手当の皆増		
普通建設事業費	48億4,464万円	▲ 11億9,800万円	▲ 19.8%
	小中学校校舎・屋体地震対策整備事業等の減		
投資及び出資金	7億2,710万円	+ 7,870万円	+ 12.1%
	病院事業会計への出資金の増		
繰出金	31億7,276万円	+ 2億9,015万円	+ 10.1%
	国民健康保険特別会計への繰り出しの増		
公債費	58億7,169万円	▲ 4億9,917万円	▲ 7.8%
	公的資金補償金免除繰上償還額の減		

(7) 人件費の増(一般職)

(単位：千円・人)

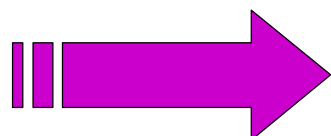
		H22	H21	増 減
職員数(教育長含む)		801	807	▲ 6
退職者		28	26	+ 2
予算額	合 計	7,114,076	6,977,440	+ 136,636
	給 料	3,266,681	3,292,296	▲ 25,615
	手当(退職手当を除く)	1,964,847	2,051,626	▲ 86,779
	退職手当	760,000	704,182	+ 55,818
	共 済 費	1,112,078	918,770	+ 193,308
	そ の 他	10,470	10,566	▲ 96

共済費増加の理由

平成21年9月から、給料に対する負担金率 $92.875\% \rightarrow 95.0875\%$ (+2.2125%)

期末・勤勉手当に対する負担金率 $74.30\% \rightarrow 76.07\%$ (+1.77%)

今後、平成21年から平成25年の各年9月に、給料に対し年2.2125%、期末・勤勉手当に対し年1.77%ずつ引き上げ



定員管理の更なる推進

(7) 人件費の増(一般職)

定員管理の更なる推進

定員適正化計画

- ・平成22年4月当初削減数 $\blacktriangle$ 12人
- ・定員適正化計画(H18~22年度)
の削減目標82人に対して $\blacktriangle$ 101人

計画を19人上回る削減

定数改正の状況

(単位：人)

年 度		H17	H18	H19	H20	H21	H22
適正化計画目標数		974	952	943	926	907	892
実職員数		974	954	935	920	885	873
増減	単年度	-	$\blacktriangle$ 20	$\blacktriangle$ 19	$\blacktriangle$ 15	$\blacktriangle$ 35	$\blacktriangle$ 12
	累 計	-	$\blacktriangle$ 20	$\blacktriangle$ 39	$\blacktriangle$ 54	$\blacktriangle$ 89	$\blacktriangle$ 101

各年度4月1日：病院職員を除く：旧岡部町職員を含む

(8) 繰出金の増

国民健康保険事業特別会計

(単位：千円・%)

	H 2 2	H 2 1	前年対比	
収 入	12,334,000	12,381,000	▲ 47,000	▲ 0.4
うち国民健康保険税	3,471,100	3,526,900	▲ 55,800	▲ 1.6
支 出	12,727,000	12,478,000	+ 249,000	+ 2.0
財源不足額	393,000	97,000	+ 296,000	+ 305.2

歳入の保険税収は、景気、雇用情勢の影響により被保険者数は伸びるものの、個人所得の低下等により、相対的には減収の見込み。

歳出の保険給付費は、被保険者数の増等に伴い増加の見込み。

歳入歳出差引の財源不足は拡大しており、それに伴って保険給付等支払準備基金の残高は、平成20年度末8億5,749万円あったものが、平成21年度末は3億8,707万円、平成22年度末は2,597万円と毎年度確実に減少の見込みであり、今後の国保会計運営上の課題である。

(8) 繰出金の増

病院事業会計

収益的収支

(単位：千円・%)

	H 2 2	H 2 1	前年対比	
収益合計	12,761,000	12,366,000	+ 395,000	+ 3.2
費用合計	13,859,000	13,710,000	+ 149,000	+ 1.1
当期損失	1,098,000	1,344,000	▲ 246,000	▲ 18.3

資本的収支

(単位：千円・%)

	H 2 2	H 2 1	前年対比	
資本的収入	848,000	802,000	+ 46,000	+ 5.7
資本的支出	1,338,000	1,230,000	+ 108,000	+ 8.8
差引不足額	490,000	428,000	+ 62,000	+ 14.5

収益的収支は、中期経営計画（改革プラン）に取り組む中で着実に改善している。

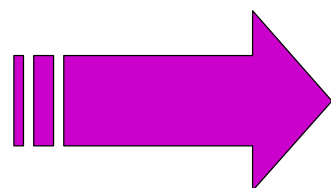
(9) 各種指標推計

健全化判断比率は確実に改善

(単位：%)

項目	20年度 (決算)	21年度 (推計)	22年度 (推計)	対前年度比
実質公債費比率	15.7	14.8	14.1	▲ 0.7
将来負担比率	113.6	102.8	98.1	▲ 4.7
市債残高比率	215.1	209.8	207.5	▲ 2.3
経常収支比率	88.9	89.8	90.8	+ 1.0

歳出の扶助費、繰出金の増等により、経常収支比率は増加する見込み。



歳入一般財源(市税)の確保の推進

歳出(人件費・物件費)の管理の推進

2. 重点施策別主要事業・組織



「元気なまち藤枝」づくり

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

1) 市民の元気づくり(健康)

() 市民の健康促進

拡】こころの健康づくり事業費 100万円

うつ病等による自殺予防対策(対面型相談体制整備、啓発講演会、市民相談担当者のスキルアップ)

新】後期高齢者被保険者人間ドック施設利用助成金 350万円

助成額 一日ドック 24,500円 一泊ドック 38,500円 脳ドック 24,500円

() 高齢者の生きがい活動、地域生活支援の充実

新】認知症支えあいまちづくり事業費 220万円

認知症の予防と早期発見、相談支援等を総合的に実施。生きがいデイサービス指導者研修、小中学生の認知症サポーター養成、支え合いコールセンター開設、介護教室開催など

拡】生きがい対応型デイサービス事業費 4,380万円

福祉センター「きすみれ」内に4月新規開設(市内4ヶ所目)

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

1) 市民の元気づくり(健康)

高齢者の生きがい活動、地域生活支援の充実



デイサービス(藤の里金曜日活動)の様子

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

1) 市民の元気づくり(健康)

() 地域福祉の推進

新】福祉のまちづくり事業費補助金 7,230万円

従来の運営費補助制度を廃止し、新たに補助目的を明確にした事業費補助制度を創設
(補助対象：市社会福祉協議会)

拡】障害者タクシー料金助成費 1,310万円

制度拡大：重度身体障害者の社会参加、精神障害者の利用上限を年間24枚から48枚

() 市民の生活支援の充実

- ・ 市民文化部に「市民相談センター」を新設

生活困窮者に対するワンストップサービスの実施、消費生活相談の充実 職員3人・相談員7人体制

新】住宅手当緊急特別措置事業費 789万円

雇用失業情勢に対応するため、住宅を喪失した離職者等に住宅手当を支給
支給月額：単身者 37,200円 複数世帯 48,300円

継】生活保護費 4億2,000万円

経済・雇用情勢をふまえ予算増額(+63世帯、+89人)

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

2) こどもが元気に育つ環境づくり(教育)

() 子育て支援の充実

新】健康福祉部に「こども家庭相談センター」を新設

子育て、家庭に関する相談業務を統一的に実施 職員9人・相談員3人体制
発達支援事業を社会福祉課から移管

新】子ども手当費(支給事務費含む)

24億1,700万円

支給対象：月平均18,500人 年間延185,000人(H22は10ヶ月分)

新】認定こども園施設整備事業費補助金、貸付金

1億5,800万円

認定こども園開設への助成制度創設
(H22対象：青島幼稚園(小石川町)定員30人、平成23年4月開所予定)

拡】民間保育所運営費補助金

8,200万円

認可外保育所への支援を拡大(市内16施設)

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

2) こどもが元気に育つ環境づくり(教育)

() 義務教育の質の向上

【拡】子どもと本をつなぐ学校図書館司書配置事業費(学校教育の充実)

小学校7校4人(+5校・+3人) 中学校8校4人(+6校・+3人)

図書館司書配置計画: H22 8人(55%)、H23 14人(100%)

639万円

【拡】学校生活支援員活用事業費(特別支援教育の充実)

支援を必要とする子どもへの積極的な対応(4人増員)

2,279万円

【拡】特別支援教育巡回相談員活用事業費

市単独施策として、岡部小学校へ発達障害通級指導教室を新規開設(県内初)

393万円

【拡】ことばの教室運営費

岡部小学校の指導員の増(市内3校・各2人体制)

1,068万円

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

2) こどもが元気に育つ環境づくり(教育)

子どもと本をつなぐ学校図書館司書配置事業費



学校図書室の様子

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

3) 自然(環境)が元気な社会づくり(環境)

() もったいない運動の推進

- ・ 生活環境課内に「もったいない運動推進担当」を配置
「 “ もったいない ” 都市宣言 」に基づく運動を戦略的に実施

拡】もったいない運動推進事業費

1,225万円

“ もったいない ” エコファミリー宣言認定、 小学4年生による家庭の節電チャレンジ、 走る環境啓発ポスター など

() 地球温暖化防止対策

拡】我が家のエコ支援事業費

1,700万円

〔 拡大 〕 太陽光発電設備設置助成 @25,000円 / Kw (+ 12,500円)

〔 新規 〕 高効率給湯器設置助成 @40,000円 / 基

拡】街路灯(防犯灯)設置費補助金

600万円

〔 新規 〕 L E D 灯導入加算 (1,000円 / 灯)

新】本庁舎省エネ改修事業費

3,000万円

市役所本庁舎への 30 Kw 太陽光発電設備の設置 C O 2 削減効果：年間 17 . 5 t

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

3) 自然(環境)が元気な社会づくり(環境)

() 水のきれいなまちの推進

【 拡 】 小型合併処理浄化槽設置補助金

1億3,000万円

既設単独浄化槽からの転換を促進するため、転換助成の増額(46万8,000円 60万円)

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

3) 自然(環境)が元気な社会づくり(環境)

もったいない運動の推進



(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

4) 危機を克服する元気体制づくり(危機管理)

() 危機管理体制の整備

- ・ 総務部の「防災課」を「危機管理課」に改組
東海地震や新型コロナウイルス等の突発的危機事案に迅速、的確に対応 職員6人体制

新】危機管理対策費 530万円
普及啓発、突発的危機事案対応経費

() 地震防災・災害対策の充実

継】小中学校地震対策整備事業費 1,770万円
耐震補強実施設計(小学校3校、中学校2校)
耐震ランク : H21 全校終了 耐震ランク : H23 補強工事実施予定

新】公共施設地震対策整備事業費(市民体育館) 1,050万円
ランク H22 耐震補強実施設計 H23 耐震補強工事を予定

拡】橋梁長寿命化修繕計画策定事業費 800万円
予防保全のための修繕計画策定 策定期間: H21~H24 対象: 橋長15m以上 93橋
H22から国庫補助対象とならない10m以上15m未満の橋梁77橋を併せて実施

新】災害時要援護者台帳整理事業費 37万円
災害時における要援護者(高齢者、障害者等)に対する救援体制の整備

(1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進

4) 危機を克服する元気体制づくり(危機管理)

() 交通安全対策

新】高齢者運転免許証返納者に対し、住基カードを無料交付〔ゼロ予算〕

新】交通安全推進費(交通安全映画上映経費) 50万円

「安全・安心まちづくりの集い」と連携して「0(ゼロ)からの風」上映

新】事故ゼロを目指す交差点づくり事業費 1,000万円

交差点改良工事等(種)とカーブミラー等の安全施設(種)を複合的・効果的に施工

拡】くらの道緊急修繕事業費 6,000万円

道路の緊急、突発的な破損に迅速に対応(+3,500万円)

() 防犯対策

拡】街路灯(防犯灯)設置費補助金(再掲) 600万円

L E D灯導入加算(1,000円/灯)を新設

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

1) 「まち」も「里」も元気な地域づくり

- 新総合計画策定事業費 1,100万円
H 2 3 から H 3 2 までの間の市の将来ビジョンの策定 (H 2 2 策定完了)
- 新国土利用計画策定事業費 480万円
H 2 3 から H 3 2 までの間のまちづくりに向けた土地利用指針の策定 (H 2 2 策定完了)

() 農業生産力の強化対策

- 新】水田農業担い手育成事業費 (地域農業振興事業基金活用) 3,250万円
受託組織支援 (コンバイン、乾燥機等導入)
- 新】みかん振興対策事業費 (地域農業振興事業基金活用) 500万円
共選場利用支援
- 新】市民農園開設支援事業費 (地域農業振興事業基金活用) 200万円
新規就農者育成農園開設 1 園、一般市民農園開設 2 園

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

1) 「まち」も「里」も元気な地域づくり

() 中山間地域の活性化対策

- ・ 産業振興部に「中山間地域活性化推進室」を新設

中山間地域の活性化に向けた施策を重点的に展開 職員5人体制

○ 中山間地域活性化基本計画策定事業費(H22策定完了) 230万円

新】竹林対策事業費(地域農業振興事業基金活用) 1,150万円

竹林伐採支援、破砕機導入支援

新】鳥獣害防止対策支援事業費(地域農業振興事業基金活用) 930万円

防獣害等フェンス・ネット設置支援、捕獲檻設置支援

継】デュアルライフ推進事業費 100万円

農家民宿開設支援等

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

1) 「まち」も「里」も元気な地域づくり

中山間地域の活性化



大茶樹のお茶摘みの様子

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

1) 「まち」も「里」も元気な地域づくり

() 都市・産業基盤の整備

継】農林業基盤整備事業費 9,308万円

県単土地改良事業4箇所、水門改良1箇所、林道改良事業2路線 など

継】広域道路整備事業費 4億1,600万円

本町大東町線、天王町仮宿線、三輪本線、滝沢滝ノ谷線 など

継】道路新設改良事業費 2億7,000万円

地元要望に迅速に対応する予算

継】中心市街地活性化推進事業費 4,900万円

再開発計画コーディネート業務、再開発事業費補助金、文化センター地区等まちづくり検討業務 など

継】土地区画整理事業費 4億2,263万円

青木土地区画整理組合事業費(H2～H23) 3,038万円

水守土地区画整理組合事業費(H4～H23) 3億9,225万円

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

1) 「まち」も「里」も元気な地域づくり

() 公共交通の確保対策

拡】地域公共交通対策事業費 2億7,122万円

自主運行バスの運行経費、地域公共交通会議のバス運行支援、民間路線バス運行への支援 など
〔新規〕路線再編に伴う市立病院線直通路線利用者の運賃上昇激変緩和のための補助

() サッカーのまち藤枝ドリームプランの推進

新】サッカーのまち藤枝の歴史発信事業費 40万円

「サッカーのまち藤枝」歴史資料の編さん（H22：資料収集、執筆 H23：製本）

拡】「夢の教室」開催事業費 200万円

元Jリーガーなどトップアスリートの「夢先生」による特別授業の実施
全17小学校で開催予定（H21：12校）

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

2) 企業や商店の元気づくり

() 農商工連携推進対策

- ・ 商業観光課内に「農商工連携推進担当」を配置

産業間を越えた地域資源の活用を戦略的に推進

新】農商工連携推進事業費

50万円

地域資源活用のコーディネート及びセミナー開催

新】薬用農作物栽培振興費補助金

330万円

薬用農作物「ミシマサイコ」の生産振興を推進

生産出荷組合の組織体制の強化、栽培普及研究、生産設備等に関する支援

拡】産業祭事業費補助金

380万円

「ふじえだ産業祭“産業ゆめ・みらいスタジアムinふじえだ”」開催支援

富士山静岡空港就航先からの出展支援のため予算増額

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

2) 企業や商店の元気づくり

() 藤枝茶振興対策

- ・ 更なる茶振興のため、農林課内の「茶振興担当」を「茶振興係」に改組

新】茶業基盤強化整備支援事業費（地域農業振興事業基金活用） 1,010万円

優良園地確保支援（基盤整備測量調査等）、改植等支援

() 工業振興対策

拡】企業立地促進事業費補助金 7,850万円

〔新規〕立地企業の建物・償却資産に係る固定資産税額相当分を助成（3事業所を予定）

(2) 活力と独自性のある藤枝の実現

3) 職員が元気になる職場づくり

() 藤枝型NPMの更なる発展・充実

- ・ 総務部の「秘書広報課」から広報部門を分離し、市内情報の発信・充実を図るため、「報道監兼広報課長」を配置
- ・ 藤枝型NPMの更なる推進のため
「行財政改革担当理事」を「新公共経営担当理事」に改称
- ・ 部局への権限移譲を推進するため、部局に「調整主幹」を配置（兼務含む）
調整監・広報監を補佐し、総合計画等の部内進行管理、予算、広報などの取りまとめを担当 12人配置

新】部長政策費（各部施策推進費） 900万円

各部の施策推進に柔軟に対応するため、9部長に対し各100万円を予算措置

新】NPM・プロジェクトチーム活動支援事業費 40万円

市政の改善・改革につなげる研究、検討のための、若手職員による自主的プロジェクトチームの活動を支援

() 効率的な行政経営の推進、市民サービスの向上

- ・ 情報政策課内に「新システム導入推進係」を新設
システム再構築に向けた体制強化 職員+2人

新】基幹業務システム再構築実施計画策定事業費 780万円

住民情報、税務情報、健康・福祉情報、内部情報の電算システムのオープン化に向けた実施計画策定

(3) 地域医療の確保

1) 病院の元気づくり

() 病院事業の経営健全化対策

- ・ 「経営改善担当部長」を配置し、病院経営健全化に向けた取り組みを実施

新】病院経営外部専門職員等の採用 2,900万円

医事管理室長（管理職）の短期任用 外部委託による医療事務専門職員の2名登用（職員3人の減）

拡】病院事業会計への繰出金 19億1,060万円

前年度より1億円増額

新】海外医療交流事業費 230万円

医師確保と資質向上を図るための、外国人指導医師招へい及び医師の海外研修派遣経費

() 地域医療体制の確保対策

- ・ 健康推進課内に「地域医療担当」を配置

地域医療の連携を強化

拡】地域医療支援事業費 100万円

安心な初期医療を守る事業：これからの地域医療のあり方の検討及び啓発活動経費

病院支援事業：病院まつり支援、市民フォーラム開催

(3) 地域医療の確保

1) 病院の元気づくり

地域医療支援事業費



病院まつりの様子

(4) 大交流時代にふさわしい藤枝の実現

1) 元気あふれる交流づくり

() 藤枝情報の発信

- ・ 市民文化部に「街道・文化課」を新設
街道文化や芸術文化の情報発信力を強化 職員 5 人体制

新】街道文化発信事業費

300万円

- 東海道藤枝宿、岡部宿の街道・宿場文化情報の発信
藤枝宿・・・(春) 街道文化展(お茶の香ロード) 開催
岡部宿・・・(秋) 街道シンポジウム及び街道文化展開催
- 街道・文化芸術作品発信事業費
『あなたが伝えたい“ 藤枝の街道(みち) ”』をテーマとした写真、短歌、絵画作品募集

新】市民が楽しむ未知(道)空間創造事業費

2,838万円

- 藤枝駅周辺地区
「て～しゃばストリート105」開催支援
開催期間：7月から12月の土・日・祝 場所：駅南口 内容：歩行者天国、市民交流イベントなど
クリスマスイルミネーション事業支援・・・11月下旬から1月上旬まで実施
安全安心防犯パトロールの実施
- 旧東海道地区
旧東海道周辺道路を活用したイベント開催、安全安心防犯パトロールの実施など

(4) 大交流時代にふさわしい藤枝の実現

1) 元気あふれる交流づくり

() 富士山静岡空港を活用した内外交流の促進

- ・ 商業観光課内に「国際観光担当」を配置

富士山静岡空港を利用した訪問者数の増加を図る

新】都市交流事業費補助金

200万円

富士山静岡空港を利用した地域間交流経費に対する助成

韓国・楊州市及び白山市友好都市交流（アウトバウンド） 助成額：1.5～2万円／人、20万円／団体

就航都市間交流（インバウンド） 補助率：1/3、上限10万円／団体

新】コンベンション等誘致促進事業費

300万円

本市へのインバウンド拡大、経済活性化等を図るための宿泊費用に対する助成

コンベンション開催 助成額：1,000円／泊、上限50万円 延べ100泊以上

スポーツ、教養文化活動合宿 助成額：1,000円／泊、上限30万円 延べ 10泊以上

継】志太中央幹線（大東町）整備事業費

3億円

富士山静岡空港からのアクセス道路の整備

全体計画：延長875m 総事業費 28億1,000万円 H23.4月供用開始予定

(4) 大交流時代にふさわしい藤枝の実現

1) 元気あふれる交流づくり 富士山静岡空港を活用した内外交流の促進



(5) その他

1) 税、料等の公平性の一層の確保

- ・ 企画財政部に「債権回収対策室」を新設

市税・使用料等の徴収困難事案を処理 職員3人体制

新】債権回収対策事業費

1,080万円

債権回収に係る経費 国税OB等を採用

2) 民間委託の推進(民間委託等による職員削減)

拡】市民課窓口業務の民間委託

効果額 837万円

職員3人の減

拡】公民館長の民間人登用

効果額 1,271万円

職員3人の減 6館→10館 〔新規〕高洲、瀬戸谷、藤枝、青島北

新】上水道料金等検針収納業務の民間委託

効果額 2,329万円

職員6人の減

3) その他

- ・ 議員定数の削減 27人 22人

拡】市議会政務調査費交付金の増額

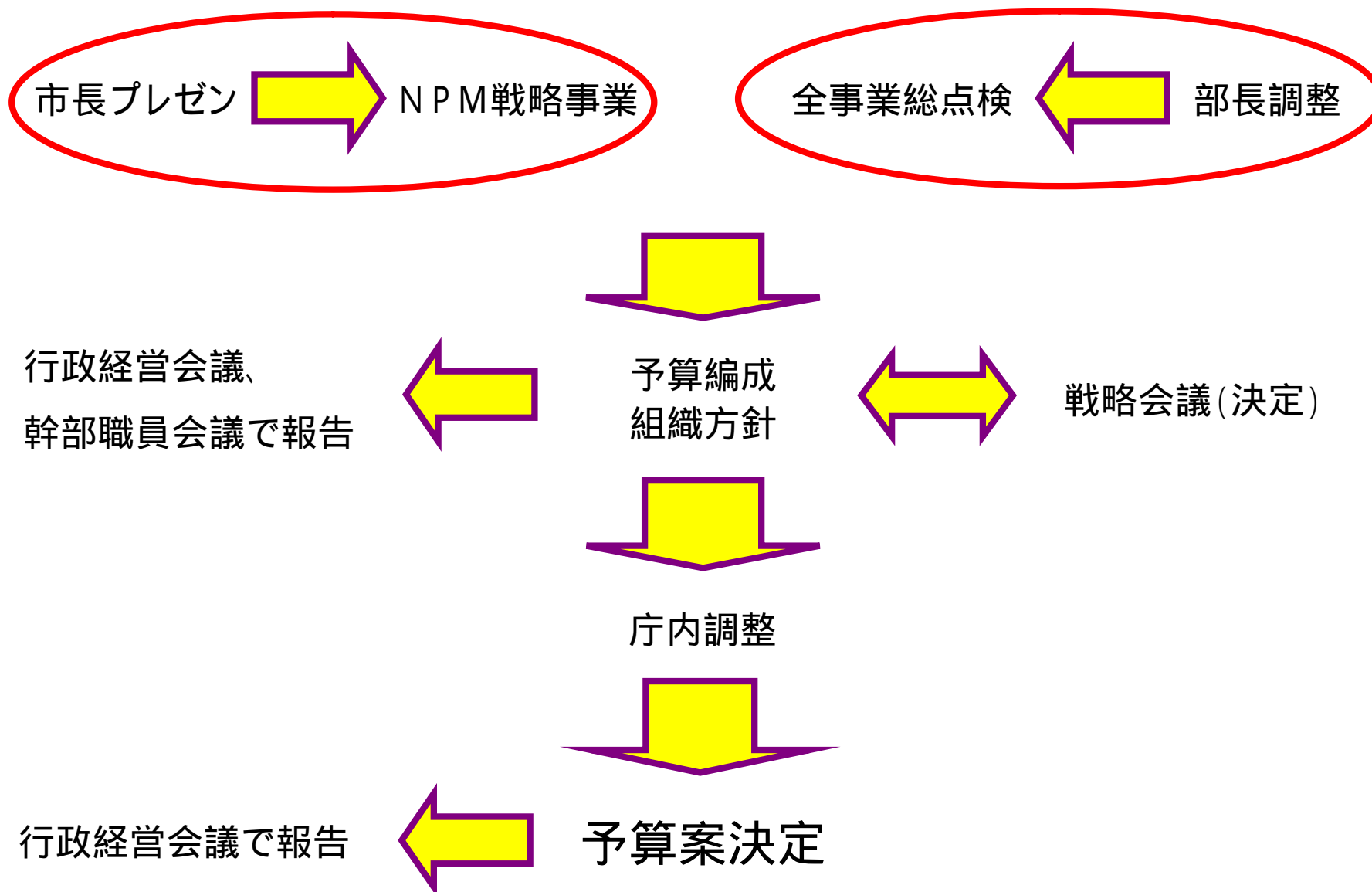
年間 24万円/人 → 30万円/人 に増額

3. 本年度予算編成の取り組み



「元気なまち藤枝」づくり

(1) 予算・組織編成の流れ



(2) 全事業総点検及び補助金見直しの予算への反映

1) 総点検結果の概要（平成22年度一般会計当初予算案）

1 1 5 事業の減 9 0 事業新規 1 5 2 事業廃止

区分	全事業	うち本数						
		拡大	継続	廃止	完了	縮小	統合	新規
本数	H22 1,039	74	680	152	53	86	109	90
	H21 1,154							
	差引 ▲ 115							

2) 主な補助金見直し内容

○ 運営費補助金の見直し

社会福祉協議会に対する運営費補助金を廃止し、新たに補助目的、補助対象経費を明確にした事業費補助金を創設した。
社会福祉協議会補助金（人件費、組織運営費） 福祉のまちづくり事業費補助金（地域福祉推進事業、福祉援護事業）

○ 小型合併処理浄化槽設置補助金

既設単独浄化槽からの合併浄化槽への転換を促進するため、新設に対する補助単価の減額による財源をもとに、転換補助単価を増額拡大した。（補助単価：新設30万円 / 基 20万円 / 基、転換46万8,000円 / 基 60万円 / 基）

○ 茶振興協議会事業費補助金（効果額：100万円削減）

藤枝と岡部の協議会統合を進め、消費拡大など啓発事業等の事業活動効率化により経費節減が図られ、補助金額を減額することができた。

○ 商工会議所奨励事業費補助金（効果額：99万円削減）

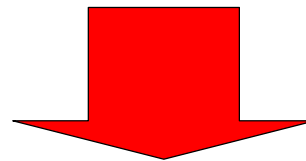
補助の対象となる事業及び経費の見直し、精査により、補助金額を減額した。

(3) インセンティブ予算配分

市民課窓口快適化事業費

市民課窓口業務の民間委託による効果額

837万円



市民課窓口の快適化

快適な待合スペース	待合椅子の増設	70万円
申請状況の見える化	窓口案内システムの導入	80万円

計 150万円